隔日刊
食品新聞
発行所　食品新聞社
http://www.shokuhin.net/
大阪市北区西天満5－10－17
郵便番号　530－0047
電話　06（6361）4972㈹
東京都中央区入船1－9－8
郵便番号　104－0042
電話　03（3552）3756-4031
名古屋市中区丸の内2－10－11
リブラ丸の内6　305号
郵便番号　460－0002
電話　052（221）5391㈹
（支局）広島・福岡
© 食品新聞社 2019
THE JAPAN FOOD NEWS
購読料　半年33,346円

純粋ハチミツ
サクラ印ハチミツ
株式会社 加藤美蜂園本舗
本社03－3875－1182

アジアの食品流通事情
食品輸出実務と実践塾 ①

食品業界は転換期を迎えている。社会構造の高齢化、流通再編の加速化で、ビジネスモデルの再構築が求められている。中小メーカーの進むべき道として、アジア市場で長らく食品流通の実務を経験し、＜日本食品を世界に売る会＞を主宰するグローバルセールス（千葉県千葉市）の山崎次郎社長＝写真＝に、アジアの食品流通の実際、ビジネスの慣習、日本食品の輸出の実態と課題をテーマに語っていただいた。10回に分けて連載する。

食品輸出の布石のために

グローバルセールス社長の山崎次郎氏は、1987年から2018年までイオングループに在籍し、その間に2か国9年の海外赴任も経験した。95年には海外で初めてトップバリュの販売をマレーシアで行った。国内では00年にデイモンワールドワイド社とのPB開発プロジェクトの立ち上げメンバーとなり、03年にはグループ品質管理部の立ち上げやGFSIのアジア初・日本初の技術委員を務めた。イオンモール在籍中は日本ショッピングセンター協会の初代国際委員の一員になり、国際ショッピングセンター協会（ICSC）の日本代表も務め、最後は食品輸出事業の立ち上げも行った。

海外での小売業、スーパーマーケットの立ち上げを含め、商品開発から輸出営業・輸出実務・現地での輸入実務・店頭販売のバリューチェーンすべてを経験したキャリアを生かし、昨年からは食品メーカーに輸出や海外販売のコンサルティングをしながら「日本食品を世界で売る会」を主宰している。

食品を海外に売ることについて得てきた経験を、読者の皆さんにもお伝えしたい。日本と海外では食品の流通事情がかなり異なる。『卸』も『路線便』も海外にはない。国内でSMを開店するなら常温食品は3社でほとんど品揃えできる。グロサリーの卸、菓子の卸、菓子の地域卸の3社だ。しかし海外では数百社と直接取引しないと商品が揃わない。食品メーカーの立場で言い換えれば、多くの小売業や飲食店と直接口座を開設し取引をする必要がある。さらに路線便が存在しないので自社で各店に商品を直接配送しなくてはならない。

食品メーカーを海外で立ち上げるということは、自社配送網を整備し、小売店や飲食店と直接取引する体制や仕組みを構築する必要があるということだが、初期費用がかかり参入障壁が高い。

そうした事例から海外ではOEMが盛んではないし、商品の種類が日本ほど豊富でないのが現状で、食品製造業をゼロから立ち上げるのは日本よりもハードルが高いと言える。

（つづく）

特許権の海外出願動向

食品業界でも国内だけでなく海外マーケットを視野に入れた国際出願が拡大する。三枝国際特許事務所は海外特許出願国80か国以上を誇り、多くの国での出願実績を持つ。海外出願を行う上での注意点やスムーズな権利化への取り組みなどについて三枝国際特許事務所副所長弁理士の中野睦子氏に聞いた。

三枝国際特許事務所　副所長弁理士　中野　睦子氏

海外出願は拡大傾向
国ごとに異なる特許制度に注意

――食品業界の海外への特許出願の動向はいかがですか。

中野　海外マーケットへの進出を検討する企業が増える中、特許出願においても日本国内のみでなく、海外出願を視野に入れた相談をいただく機会は増えている。出願国は米国、欧州、中国がメーンで、今後ビジネス展開を考える国や原料の輸入国、製造国を加えた3～5か国への出願が多い。

――海外へ特許出願を行う上での注意点は。

中野　国ごとに特許制度が異なる点に注意が必要だ。また、出願後は当初の明細書に記載がない事項は補正できないため、権利化する国ごとに、その国特有の制度を熟知した上で明細書を作る重要性も高い。

――国によって、特許出願制度が異なるのはなぜですか。

中野　特許制度は自国の経済発展を支える制度である。経済が急成長している国でも技術面は発展途上だ。例えば、ベトナムやインドはそもそも用途発明を認めていない。この場合、成分の組み合わせや割合を限定し、物質の構成そのものが既知の食品と差別化できれば権利化を進められるが、用途しか新しくない場合は特許出願しない検討も必要なる。海外でスムーズに権利化するためには、クライアントの要望に合った特許事務所を選択しなければならない。また、海外も含め相違するため、出願する国に適した複数のクレームを記載するなどの対応が必要だ。

――同じ用途を指す場合でも国ごとにクレームの記載が異なるということですね。

中野　国際出願を視野に入れている場合は、どの国の特許制度が他国の企業の特許権に縛られることなく自由にビジネスを行い、国の技術・経済を守り発展させるために国ごとの特許制度を設けている。また、用途発明を認めている国でも特許申請の際に記載するクレーム（保護を求める権利範囲）の書き方は国ごとに整えている。現地特許事務所によって権利化に強い、訴訟に強いなど特性があり、それに応じて値段も異なる。海外でスムーズに権利化するためには、クライアントがよりスムーズに安心して海外で権利化できるよう、現地の弁理士の能力の高さはもちろん、期限管理や請求書の発行および書類発送手続きを行う事務セクションがきちんと機能している点も大切である。これらを重視しながら提携を行う特許事務所の選別を行っている。

（10～11面に「知財特集」）。

次世代ネットSMへ
英国企業と戦略的提携
イオン

イオンは英国のネットスーパー企業「Ocado Group plc」（本社ロンドン、ティム・スタイナーCEO）の子会社「Ocado Solutions」（本社ロンドン、ルーク・ジェンセンCEO）と自国内における独占パートナーシップ契約を締結した。岡田元也イオン社長とティム・スタイナーCEOが11月29日、都内で会見し明らかにした。

岡田元也イオン社長㊨とティム・スタイナーCEO

Ocadoは00年に設立されたネットスーパーを運営する企業。店舗を持たず、オンラインで食料品などの注文を受け、宅配するサービスを提供している。AIとロボットを駆使した最先端の顧客フルフィルメント・センター（中央集約型倉庫／以下、CFC）と精緻な宅配システムを独自に確立し、英国ネットスーパー業界で最も早い成長スピードを誇る企業。

こうしたノウハウや技術を他社に提供するビジネスモデルを構築し、世界中の小売業者にOcado Smart Platform（以下、OSP）と呼ばれるエンドツーエンドのオンライン食料品・日用品販売のソリューションを提供している。

イオンでは今回の提携で、デジタル、AI、ロボティクス機能の強化に向け、来年3月までに新会社を設立し、オンラインでの買い物体験を提供する。また、OSPを利用し2023年には日本で第1号のCFCを設立する予定。高度に効率化されたオペレーションと自社物流を構築し、優れたアプリのインターフェースを介し、「いつでも、どこでも、何でも」というニーズに応える。

今後、こうした技術を活用し、既存のネットスーパー事業、店舗ピックアップ、クリック＆コレクト等に活用する。イオンでは、世界最先端の知見を得て「次世代ネットスーパー」を立ち上げ、運営することにより、2030年までに6千億円の売上げを目指す。

ネットスーパー事業を巡っては、ライフコーポレーションが今期、来店宅配サービスにおける安定した配送網の構築を目的とするセイノーホールディングス、同社グループ会社ベクトルワンとの業務提携に続き、アマゾンジャパン合同会社が運営するAmazon「Prime Now」に食品スーパーとして国内初出店を決め、都内の一部地域を対象に、9月12日から実店舗で取り扱っている生鮮食品や惣菜の販売を開始した。これまで同社のネットスーパーを利用できなかった新たなエリアでの顧客獲得を狙ったものだったが、「想定の数値を上回る順調なスタート。ネットニーズに対応しつつ、リアル店舗を磨いていく」（岩崎社長）と手応えを示すなど、ネットスーパーを巡る提携の動きが加速している。

（次号に詳細）

きょうの業界天気図
健康食品
はれ
来年の東京五輪に向けスポーツニュートリションが伸長。
きょうの主な内容
4～9　健康食品特集
10～11　知財特集

逆光線

木枯らしが吹くと目本酒が恋しくなる。12月から1月にかけてしぼりたての新酒が出回り、そのみずみずしさを味わうとひと足早く新年を迎えた気分になる。酒を味わい瓶の顔を眺めながら性格を読み解くのも楽しい▼日本酒で「テロワール」という表現を頻繁に見かけるようになった。もとはワイン用語で、広義では風土。狭義はぶどうが育った土壌や地形、水などその土地の特徴を表現する時に使う。日本酒の場合は「地酒」と言っても、多くは米の栽培地と酒を醸す場所が異なり、風土は強調されなかった。その風潮が変わりつつある▼蔵元と地域の関係はこの10年ほどでより深くなった。日本酒は原料の8割が水が占め、水質は酒質に反映される。また酒造りに欠かせない酵母は、もとはわい自然界にある。昔の技術で酵母を取り入れ、地域の酒米を使い、さらには酒米から育てる蔵元も出てきた。「テロワール」の発想で、地域に根ざした独自の味を目指している▼風土をリスペクトした酒造りを感じると、日本酒が工業製品ではなく農業製品ということを改めて実感する。

世界の海苔を…世界の人々に
国際海苔問屋
株式会社ヤマコ
本社　〒446-0061　愛知県安城市新田町小山19番地の1
TEL（0566）76-7611　FAX（0566）76-7788
中国・江蘇省　連雲港雅馬珂紫菜有限公司
TEL 0518-2342368　FAX 0518-2342345

CHIMAY
Pères Trappistes

知りたい旅
小豆島の味わい
初上り
塩昆布茶
お茶の香りと磯の香り。
とっても上品なおちつきの味わい。
安田食品工業株式会社
香川県小豆郡内海町安田甲103番地　TEL（0879）82-2275

ODM×M
MULTIPLICATION OEM
Natural Create Project
世界中を巡り集めた、地球からいただく産物。
より確かなこだわりの素材こそ、私たちの商品開発の基礎となります。
世界各国や日本全国の風土と気候、生産者が育んだ自然素材の特性と機能を最大限に生かした安心できる健康食品・サプリメントを開発し、生産いたします。
高齢化・情報化の社会の流れとともに人々の健康への関心が強まり、
栄養補助食品や機能性食品のニーズが、過去にないほど高まりを見せている今こそ、
小さな小さなひと粒の製品に、長年のノウハウと大自然の恵みを凝縮し、
手に取る人の笑顔を創る商品を企画・開発・提案します。
それが、私たちエフアイコーポレイションのOEMを超えた「ODM×M」プロジェクトです。
御社だけのオリジナルスポーツサプリをはじめ、
健康食品・サプリメントの開発・受託生産承ります！
価格競争に巻き込まれない
付加価値あるヒット商品をトコトン提案します。

ひと粒に込めるストーリー
FI CORPORATION
株式会社 エフアイコーポレイション
【健康食品・サプリメント受託製造ODMメーカー】TEL 058-259-4711
〒501-6005岐阜県羽島郡岐南町若宮地3丁目182　FAX 058-259-4717
トコトン エフアイ　検索
GMP　JIHFS